

副鼻腔炎

患者様情報

来院されるまでの症状

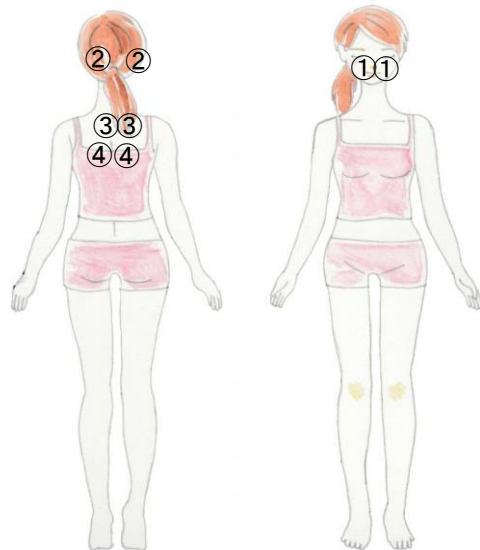
- ・長年副鼻腔炎を患っており、前頭部に重い不快感があるということです。
- ・現在も薬を服用中です。
- ・もともと肩関節痛で来院されていますが、同時に副鼻腔炎の治療も行うこととしました。

患 者 様	50 代	女性
初 診	2012 年	3 月
既 往 症	アレルギー性鼻炎	
他 の 症 状	肩関節痛、頭痛	

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・頭、首、肩周辺の筋肉が異常に硬くなっていました。
- ・副鼻腔炎はほとんどの場合、首肩こりをともなっているので、頭のつけ根や首肩周辺の血流改善を促すことに重点をおき、施術に臨みました。
- ・加えて、副鼻腔炎に有効な顔面の小鼻の両脇にあるツボ「迎香」に刺鍼をしました。



■ 初診後の経過

- ・週1回の治療で1か月を過ぎたあたりから、副鼻腔炎による頭痛や前頭部の重さが気にならないくらいに症状が軽減していました。
- ・症状は取れてきてはいますが、疲れがたまると鼻水が出やすいということです。
- ・現在も継続的な治療を続けていらっしゃいます。

使用した主要なツボ

- ①迎香(ゲイコウ) ②風池(フウチ)
③肺俞(ハイユ) ④膏肓(コウコウ)

■ ひとこと添えさせていただきます

- ・副鼻腔炎は重症化すると、頭痛や頭重の原因となり、集中力の低下や疲れやすさを招く不快な症状を引き起こします。
- ・また、ほとんどの場合、首肩こりをともないますので、頭のつけ根や首肩周辺の血流改善を促すことが大切です。